

浦和博物館企画展

漆刷毛が

できるところまで



令和6年

10月22日[火] - 12月8日[日]

【開館時間】9時～16時30分

【休館日】月曜日(11月4日は開館)

11月5日(火) 6日(水) 26日(火)

【会場】浦和博物館 展示室 2階

【入館料】無料

関連講座／お話と実演

【講師】泉虎吉氏(十世 泉清吉)／漆刷毛師

【日時】11月17日(日)14時から16時

【会場】浦和博物館 展示室 1階

※詳しくは裏面をご覧ください



さいたま市立浦和博物館

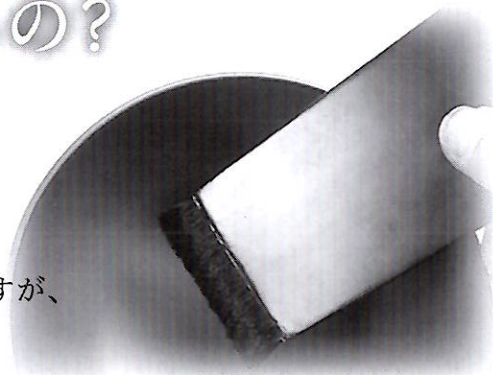
〒336-0911 さいたま市緑区大字三室2458番地 TEL・FAX 048-874-3960



浦和博物館HP

漆刷毛は何でできているの？

漆工芸において、なくてはならない道具が「漆刷毛」です。
下塗り・中塗り・上塗りと漆を塗り重ねていく道具です。
では、「漆刷毛」は何の毛を使っているのでしょうか。
答えは、「人毛」。下塗りに「馬毛」などを使う場合もありますが、
仕上げには「人毛」を用いた刷毛が使用されます。



毛を束ねて固め、割り板で挟んで作る「漆刷毛」は、鉛筆のように先端から末端まで毛が入っているため、刷毛を削り出して使用します。このような独特の漆刷毛を考案したのが、江戸八丁堀に住んでいた初代・泉清吉氏。仙台藩士をやめ、明暦2年(1656)から「毛引き毛揃え櫛通し口でくわえて膝で打つ」江戸伝統技法を守り、伝える泉家の漆刷毛づくりの道具を紹介します。

関連講座

「漆刷毛ができるまで」

九世 泉清吉氏(選定保存技術保持者)の元で、
幼少時より漆刷毛師として修行を積んだ
泉虎吉氏(十世 泉清吉)によるお話と実演です。

- 【日 時】11月17日(日)14時から16時
- 【会 場】浦和博物館 展示室 1階
- 【定 員】30名
- 【申 込】11月7日(木)9時から電話で浦和博物館へ
TEL 048(874)3960



※選定保存技術保持者とは…文化財保護法では、文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術または技能である「文化財の保存技術」のうち、保存の措置を講ずる必要のあるものを「選定保存技術」として選定しています。その技術・技能をお持ちの方を「保持者」として認定したものです。

写真提供/泉虎吉氏

さいたま市立浦和博物館



浦和博物館HP

住所 | さいたま市緑区大字三室2458番地

TEL・FAX | 048-874-3960

交通 | JR京浜東北線北浦和駅東口から、東武バス「さいたま市立病院」行き約15分、
終点下車すぐ

JR武蔵野線東浦和駅から、

国際興行バス「馬場降返場」行き約15分、終点下車徒歩約6分

